

平成29年度

帰国生入試(第1回)

高等学校 入学試験問題

国 語

注 意

- 1 合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は13ページにわたっています。
- 3 最初の合図があったら、解答用紙の決められた欄に、受験番号、氏名を記入してから始めなさい。
- 4 声を出して読んではいけません。
- 5 解答は解答用紙の決められた欄に筆記具ではっきりと書き入れなさい。
- 6 試験時間は50分です。
- 7 計時機能以外の時計の使用は認めません。
- 8 試験中、体の具合や気分が悪くなったときは、静かに手をあげなさい。
- 9 終わりの合図があったら、すぐに筆記具を置きなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

経済物理学、行動経済学などの新しい学問分野が次々と登場し、経済学の枠組みも大きく変化しつつあります。私は「経済学Ⅱ物理学＋心理学」だと考えていますが、本当に科学<sup>①</sup>になってほしいものです。

② カネというのは、非常に奇怪な存在です。本来物理現象のエミュレーション<sup>※</sup>でしたが、やがて信用と結びついて、時間方向では保存量とは言えなくなりました。現在のカネは、さらにあやふやになってきています。

例えば、電子マネーやさまざまなポイントです。電子マネーやポイントはカネで購入するサービスのように見せてはいますが、その本質は<sup>③</sup>「れっきとしたカネと言えます。カネを前払いしているわけですから、企業会計上、発行されたポイントは負債として計上されるべきものです。国際会計基準では、ポイントは負債として計上するというカイシャク<sup>ア</sup>ですが、現在のところ日本企業では取り扱い方法はさまざまで、一定していません。

ポイントカードで支払うと割引があったり、貯めたポイントを電子マネーに変換するということも当たり前になっていますが、これは使用者の目の前でカネの価値が変化しているわけです。カネは、空間方向には保存量であったのですが、それすらも曖昧<sup>あいまい</sup>になってきています。

カネについては、さらに<sup>イ</sup>「コンゲンのな問題」もあります。それは、「モノ」と「コト」の扱いです。

カネでモノ、つまり物理的な存在を買うのは、ごく自然な行為で誰も疑問は持たないでしょう。あなたがリンゴを100円で買う時、あなたの手元からは100円がなくなる代わりにリンゴを得、店主の手元には100円が増える代わりにリンゴがなくなります。

しかし、これが「コト」ならどうでしょう？ コト<sup>④</sup>というのは、情報を指します。

※アップルのiTunes Store で何万人が同じ曲を購入しようと、在庫切れになることはありません。情報は本質的に減ることがなく、容易に複製が可能です。

コンピュータやインターネットが登場する前は、モノとコトの区別はそれほど重要ではありませんでした。

本というのは、紙の束にただリンクをのせたモノではありません。重要なのは、書かれている情報です。しかし、ジュウライはコトである本の内容と、モノである媒体としての本は不可分でした。買い手が100円出して本を買えば、売り手は100円を得る代わりにモノとしての本がなくなります。これが電子書籍という純粋なコトになると、本は物理的な制約から解放され、無限にコピーできるようになったのです。

⑥ 現代の商取引においては、Aの割合が急激に増えています。スマホでアプリやコンテンツを購入するのは、もはや私たちの日常です。

ここで注意すべきは、カネはモノとコトを区別しないということです。有限のBと、無限のC。これを同じようにカネで取引するのは、妥当なことでしょうか？ たとえば映画や音楽の違法コピーや海賊版によって何千億円分の被害が出たという事件がよく報道されますが、ソフツの算出方法は適切なのでしょうか？ 日本レコード協会が2010年8月に行った調査では、音楽ファイルの違法ダウンロード数を正規版の売上高に換算すると6600億円になるとのことです。しかし、音楽ソフト生産金額はピークだった1998年時点でも約6070億円にすぎません。違法ダウンロードがなかったら、6600億円分の音楽ソフトが売れたのでしょうか？ 私には捕らぬ⑧の皮算用を通り越して、絵に描いたモチの皮算用に感じられるのですが。また、コトはいくら売っても減らないので、人気のあるコトを持っている人の元には莫大⑨なカネが集中することになります。世界的に経済的な格差が広がっていますが、その原因の1つはモノとコトを同じカネで扱っていることにあるのかもしれない。もう1つ、カネについて言っておきたいことがあります。それは、カネでやり取りされる価値や幸福についてです。モノを売買して利益を上げたり、仕事をして報酬をもらうと、人は幸せを感じます。給料が少ないよりも多い方が幸福度は高くなるでしょう。それならば、幸福はカネに換算することができると、人は幸せを感じます。給料が少ないよりも多い方が幸福度は高くなるでしょう。それならば、幸福はカネに換算することができると、人は幸せを感じます。

D。人の感じる幸福は保存量ではないのです。

幸福とは、物理で言う「力」のようなもの。物体に力を加えると、動きなどを変化させることができますが、力それ自体は保存

量ではありません。保存量なのは、その力に移動距離をかけた「仕事」、つまりエネルギーです。幸福も状況や時間によって、増大したり減衰したりする、心理的な現象です。

かようにカネとは、物理現象と心理現象の絡み合った複雑怪奇な存在であり、それを制御<sup>オ</sup>するために各国の中央銀行が金利を調整するなど、いろいろな手を加えているわけです。

こうしたカネの振る舞いを研究するためには、人間の心理についても科学的な手法で定量化し、新しい経済理論を構築していく必要があるでしょう。

(小飼 弾『「中卒」でもわかる科学入門』より)

※ エミュレーション 擬似的、模倣

※ iTunes Store 音楽・ミュージックビデオ・ゲームなどをダウンロード購入できるオンラインストア

【解答に句読点・記号が含まれる場合は、一字と数える】

問 一 傍線部ア～オのうちカタカナは漢字に、漢字は平仮名に直して書きなさい。

問 二 傍線部①「科学になってほしい」とあるが、そうなるためにはどのようなことが必要だと筆者は考えているか。本文中から四十字程度で抜き出し、始めと終わりの五字を解答欄に続くように答えなさい。

問 三 傍線部②「カネというのは、非常に奇怪な存在です」とあるが、なぜそのように言えるのか。その理由として最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア カネによってモノとコトの両方を買うことができるようになり、時間方向では保存量という存在ではなくなったから。
- イ 学問分野の中で経済学が変化してきたことにより、時間方向では保存量という存在ではなくなったから。
- ウ 時間方向と空間方向によって使い分けられることができるようになり、時間方向では保存量という存在ではなくなったから。
- エ 国際会計基準と日本企業の扱い方が一定ではなくなったことにより、時間方向では保存量という存在ではなくなったから。
- オ 本来の形から離れ、信用と結びつくことにより、時間方向では保存量という存在ではなくなったから。

問 四 傍線部③「れっきとした」の使い方として不適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア あの人 はれっきとした家柄の出身である。
- イ 彼はれっきとしたおとなである。
- ウ 日頃のれっきとした練習の成果が出た。
- エ 彼が犯人であるというれっきとした証拠がある。
- オ これはれっきとした日本語だ。

問 五 傍線部④「コト」というのは、情報を指します」とあるが、「コト」の特徴について説明している一文を本文中から抜き出し、始めの五字を答えなさい。

問 六 傍線部⑤「本は物理的な制約から解き放たれ、無限にコピーできるようになった」について、その説明として最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 本をカネに換算できるようになり、買いやすくなったということ。

イ モノとしての本がなくても情報を得ることができるようになったということ。

ウ 本はただ情報が詰まっているだけになり、本としての価値がなくなったということ。

エ カネによってしか情報を買うことができなくなったということ。

オ 書店での購入価格が変化し、価値観が違ってきたということ。

問 七 傍線部⑥「現代の商取引」の状態を三十字以内で説明しなさい。

問 八 空欄A～Cに当てはまる語として「モノ」か「コト」のどちらかを入れなさい。

問 九 傍線部⑦「カネはモノとコトを区別しない」とあるが、このことはどのような現象を引き起こしているのか。説明しなさい。

問 十 傍線部⑧「捕らぬ（ ）の皮算用」が「不確実な事柄に期待をかけて、それをもとにした計画をあれこれ考えること。」と  
いう意味になるように、空欄に当てはまる最適な語を次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 虎      イ 狐きつね      ウ 犬      エ 狸たぬき      オ 猫

問十一 空欄Dに当てはまる最適な言葉を次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア そうなります                   イ そうはなりません  
ウ そうなるかもしれません  
エ そうならないかもしれません                   オ そうなってほしいです

□ 次の文章は、親元を離れて一人住まいをしながら、音楽大学の声楽科に通っている主人公の「私」が自分の歌に価値を見い出せなくなり、もがいている場面である。後の問いに答えなさい。

私は情熱がほしい。どんな障害をも越えていく情熱。たぶんそれこそが、才能だとか、個性だとか、それから努力だとか、素質だとか、可能性、環境、遺伝、機会、そんなようなんだか別々のようできて実はとてもよく似た、<sup>①</sup>たちの悪い<sup>①</sup>げものに立ち向かう唯一の武器なんじゃないかと思う。

風が吹いて、木々が枝を揺らす。葉の間から<sup>a</sup>サす陽もだいぶ弱くなった。どこに情熱があるだろう。どうやってそれを燃やせばいいんだろう。

いろんなことがわかってしまったような場所で、評価から離れて歌うのは勇気のいることだ。そして、評価を忘れて友達とつきあうのも骨の折れることだと思う。

大学へ入って一年半になるのに、<sup>②</sup>ほんとうに心の許せる友人などひとりもできなかった。授業が終わればさっさとひとりの部屋に帰る。話をするくらいに相手ならいらないわけではないけれど、ひとりのほうがずっと気楽だ。二十歳<sup>はたち</sup>にしてこれだから、この先ますます閉じこもっていくんじゃないかと考えると恐ろしい。

そういえば、うちの学校には裕福な家庭の子が多いようだ。篠原さんもやはりどこだったか大きな会社の社長の孫だと聞いたこ

とがあつた。小さい頃から特別な音楽の教育を受け続けるには相応の財力がないとむずかしい部分もあるのかも知れない。

私自身は特に豊かな家庭に生まれたわけではない。母はヴァイオリニストとして名が通つてはいるものの、父親はいない。大学までどうしても通い切れない距離ではないのに自宅を出てひとり暮らしをさせてもらっている状況は明らかに贅沢だぜいたくつた。しかし、大学に入つたら一度は家を出るよう、いい渡したのは当の母だ。

もちろん、ひとりで暮らせるならそうしてみたかった。特に、実習も含め、授業数の多い一、二年生のうちは通学時間が短いに越したことはない。学生寮に入るには不向きな性格であることも、母はよくわかつていたようだ。当然のように大学から近い場所にマンションを借りてくれた。

「親元にいたらわからないことつてあるのよ」

母はいった。

「人生って案外短いんだから。今勉強しないでいつするの」

笑つて送り出してくれたけれど、口調はいつになく強かつた。

人生は短い、だろうか。それならそれがかまわない。今まで生きてきた分よりもずっと長いこれからを生きていくには、どう考えても私の情熱は足りないだろう。

母の目尻に刻まれた皺しわをそれとなく見た。若い頃の母の、皮膚だけでなく、まわりの空気までぴんと張りつめたようなジャケット写真を思い出す。年をとつて円熟味が増したと評価される演奏家もたしかに多い。でも、同じくらい多くの演奏家は年と共に情熱をなくし、勢いをなくしていくように思えた。母も闘っているのだろうか。得るものと失うもの。なくしたくないものを必死で抱え込もうとすることもあるのだろうか。

「どうかした？」

黙ってしまった私を母は怪訝けげんそうに見た。

持っているものがなければ失うものもない。衰えを気にしなければならぬようなものは、少なくとも私にはなかった。それさ



えも、これから手に入れに行く。

「がんばるよ」

私は母にいった。<sup>⑥</sup>笑顔で、手を振りながら。

せつかく送り出してくれた母に、弱気なことはいえない。いいたくない。

もしかしたら、私に歌は歌えないのではないか。音楽に情熱を見出すことをあきらめてしまっているのではないか。そう思っていることは話せなかった。

母がヴァイオリンを**ひく**のは当たり前前すぎるほど当たり前のことだったのに、私は自由に歌えなくなっている。歌って評価されることを恐れている。

歌を歌えればそれでいい、と思っていた。でもそれが案外むずかしい。聴いてくれる人がいなければつまらない。力がなければチヨウシュウを集めることはできない。そして私には力はなかった。私の歌に私自身が価値を見出せないでいる。

入学当初から突きつけられてきた事実だったにもかかわらず、私はそれを見て見ぬふりをした。<sup>⑦</sup>私だけではない。大方の生徒は与えられた場所で波風を立てぬようふるまった。いずれにせよ、もうすぐはつきりする。順位をつけられ社会に押し出される。押し出された私たちを、誰が拾ってくれるだろう。あたたかく迎え入れてくれるだろう。誰も手を差し出してくれなかったら、押し出されたところてんみたいにぐずぐず落ちて崩れるしかない。

義務教育をとくに過ぎて、お金をかけて特別な教育を受けさせてもらったあげくに最後のところてんかと思つたら、親にも周囲にも申し訳が立たない気がした。気がしたただけだ。私たちは夢だ。希望だ。胸を張っていないければならない。この先どんな未来が待ちかまえているかわからなくても、夢で希望でなくてはならない。少なくとも、親や家族の夢で、希望で。だからこそ、夢と希望でなくなったときにつらいのだ。<sup>さんせん</sup>燦然と輝いたはずの未来は、自分たちのものではなく、まわりの人のものだったのだと思う。

私の歌はお嬢さん芸だと思う。誰も何もいわないけれど、自分が一番よくわかる。私はただ歌を歌うだけだ。歌で表現するものが何もない。歌は私の喉のどをひゅうひゅう通り抜けていく。通り抜ける喉はべつに私の喉ではなくてもいいのだ。歌にとってはむしろもつと他に豊かな色をつけて世に送り出してくれる喉があるだろう。

明るく、楽しそうに、元氣よく。あるいは、悲しげに、ウうちひしがれて。そんなふりをして歌うことはできる。いくらでもできる。ただし、「ふり」だ。それが自分で嫌になる。悲しくもないのに悲しげに歌うことで何を表せるのだろう。私の中の悲しみの深さはまったく足りない。そこを掘り起こしても、揺さぶっても、出でてくるのは悲しみの「ふり」でしかない。

私に足りないのは何だろう。感情ではない。表現力でもない。才能でも環境でも努力でもなく、**A**ではないか。お嬢さんには決定的に**A**が足りないのではないか。

歌がうまいってどういうことだろう。そんなことをいつているようじゃ最初から駄目だと思う。つまらないところで悩んだり立ち止まったりせずどんどん行ける人じゃないと、どんどん進んで行ける人じゃないと、最初から駄目だ。だって、ほんとうにつまらないところなのだ。ちゃんとうまく歌えていれば、立ち止まる必要のないところだった。もしかしたら、歌を歌うことだけでなく、どんな分野でも似ているのかもしれない。とりあえず、悩まない。立ち止まらない。そのためには、一番うまく、もしくは二番か三番くらいにうまくなければならなかった。

(宮下 奈都『終わらない歌』より)

【解答に句読点・記号が含まれる場合は、一字と数える】

問一 傍線部 a～d の漢字として最適な漢字を後のア～エの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a	サ す	ア	指	イ	刺	ウ	射	エ	挿
b	ヒ く	ア	挽	イ	弾	ウ	退	エ	惹
c	チ ヨウシユウ	ア	徴収	イ	長州	ウ	徴集	エ	聴衆
d	ウ ちひしがれ	ア	打	イ	内	ウ	撃	エ	討

問二 傍線部①「たちの悪いだけものに立ち向かう唯一の武器」とは具体的に何のことか。本文中から二字で抜き出して書きなさい。

問三 傍線部②「ほんとうに心の許せる友人などひとりもできなかった」理由として最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人見知りが激しく、人に対して心を開くことができなかったから。
- イ 友人との付き合いも芸術の評価と切り離して考えることができなかったから。
- ウ 学校の友人は裕福な家庭の子供が多く、自分とは違うと思っていたから。
- エ 歌の勉強をすることが第一なので、友人など必要ないと思っていたから。
- オ 大学生活にもひとり暮らしにも慣れることができないので、緊張していたから。

問四 傍線部③「ひとり暮らし」について「私」と「母」はそれぞれどのように考えていたか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問 五 傍線部④「得るものと失うもの」とはそれぞれ具体的に何のことか。本文中より三字以内で抜き出して書きなさい。

問 六 傍線部⑤「怪訝」の意味として最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 面倒くさいさま

イ ふざけているさま

ウ 不思議なさま

エ 恐怖におののくさま

オ 不愉快なさま

問 七 傍線部⑥「笑顔で、手を振りながら」とあるが、この時の主人公の気持ちとして最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア ひとり暮らしを楽しみにしていると母にさとられないようにしている。

イ これから始まる大学生活に夢と希望で満ちあふれている。

ウ 親元を離れる心細さや不安をごまかしている。

エ これから一人になる母を気遣って明るくしようとしている。

オ 自分が感じている不安を母に気づかれまいと思っている。

問八 傍線部⑦「私はそれを見て見ぬふりをした」とあるが何を見て見ぬふりしたのか。「力」「価値」の二語を使って説明しなさい。

問九 傍線部⑧「ひゅうひゅう」という表現方法と同じものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ゴロゴロ      イ ウワフワ      ウ ワンワン      エ カタカタ      オ ギシギシ

問十 傍線部⑨「出てくるのは悲しみの『ふり』でしかない」と主人公が考えるのはなぜか。その理由として最適なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア この表現は間違っていると思うてしまうから。  
イ 私は自分の感情を他人に表現したくないから。  
ウ 私は喜怒哀楽という感情を持っていないから。  
エ 私は人生経験がまだ不足しているから。  
オ 他人にこの悲しみがわかるはずはないと思うてしまうから。

問十一 空欄Aに当てはまる最適な語を次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 教育      イ 収入      ウ 体験      エ 個性      オ 表情

三 次の1〜5の意味を表す熟語になるように、後の□の漢字を組み合わせて熟語を作りなさい。

- 1 よい行い
- 2 人の人生の終わりの時期
- 3 きびしく言いつけること
- 4 図書館や個人が持っている本
- 5 考えをしつかり固めること

晩 意 命 蔵 善 書 行 年 決 蔵

四 次の1〜5の傍線部の用法を後のア〜クの中から選び、記号で答えなさい。ただし、記号は一度しか使えないものとする。

- 1 今度こそ頑張って応援するぞ。 2 さあ、今から出かけるぞ。
- 3 この話は誰にも話すな。
- 4 これが終わるまで、二時間ばかりかかりかかります。 5 あなたのことはばかり考えていました。

- ア 禁止を示す      イ 一例をあげて他を類推させる      ウ 強調する      エ 強い主張  
オ だいたい程度の示す      カ それと限る(限定)      キ 疑問を表す      ク 同類の一つであることを示す



受験番号	
氏名	得点

問一 40  
②×5

一 ア 解釈

イ 根源

ウ 従来

エ 損失

オ せいぎよ

問二 ②

カ ネ の 振 る

ゝ 必要がある

と 考 えて いる。

問三 ③

オ

問四 ②

ウ

問五 ②

情 報 は 本 質

ゝ 可 能 で す。

問六 ③

イ

問七 ④

で	実
あ	際
る	に
状	店
態	に
。	行
	か
	な
	く
	て
	も
	購
	入
	す
	る
	こ
	と
	が
	可
	能

問八 A ②×3

コ ト

B モ ノ

C コ ト

問九 ④

コトはいくら売っても減らないので、人気のあるコトを持っている人にカネが集中し、経済的な格差が広がってしまう現象を引き起こしている。

問十 ②

二 40

一 a ②×4

ウ

b イ

c エ

d ア

問十一 ②

イ

問十二 ②

情 熱

問十三 ③

イ

問十四 ③×2

私 通学時間は短い方がいいし、ひとり暮らしはしてみたいと考えている。

母 親元にいたらわからないことがあり、今勉強する必要があると考えている。

問十五 ②×2

円 熟 味

情 熱

問十六 ②

ウ

問十七 ③

オ

問十八 ⑤

自分には歌の力がないこと、それを評価されることもないので価値を見いだせないでいること。

問十九 ②

イ

問二十 ③

エ

問二十一 ②

ウ

四 1	②×5	ウ	2	エ	3	ア	4	オ	5	カ
三 1	②×5	善 行	2	晩 年	3	嚴 命	4	蔵 書	5	決 意